

オステオパシー入門基礎セミナー

in 千葉

講師 東京オステオパシーキャビネ 院長 柴岡 宏二
Diploma d`Osteopathe JOMA 認定オステオパス



特別初回無料セミナー・・・全2回で2回目は自由参加ですが有料と成ります、1回目を出られた方で、2回目の入門フェイズ2を受けたい方は1回目の際に申し込まれて下さい。



- 歴史
- 哲学と原理
- 診察基礎とオステオパシー触診
- 10ステップスクリーニング 全2回

講師よりのメッセージ

オステオパシーとは、オステオパシー哲学に基づいた構造と機能の考えを基に、感性和計画性が共なったマニピュレーションの事を、オステオパシーマニピュレーション(OMT)という。

オステオパシーの意味とは、けして一つのマニピュレーションの手技療法的手段や種類に対しての用語ではなく、哲学・原理・原則と有効的な手段(手技が中心)との融合を指した広い意味合いを持つ。

オステオパシーは適応範囲が広く、非常に高い効果を発揮する理由は、オステオパシーの原理に基づいて身体を観察し症状の原因を見つけ、その人の原因に合った手技を正確に施術する事です、オステオパシー原理の理解なしに施術の方向性は無く、逆に正確に問題を見つけるオステオパシー触診法や調整手技が正確でなくても、オステオパシーでは無く、ただの手遊び成り下がってしまいかねません。

日本の多くの医療・医療類似行為や代替療法を行う方の大半は、オステオパシーの基本的な所を理解していません。

また日本のオステオパシーを教えたり施術に利用する大半の施術者は、オステオパシーの一つの手技の技術か、その一つの手技の一部分だけが出来の方が大半で、オステオパシーのグローバルコンセプトを理解し行えるとはほど遠い状態です。

JOMA では正しいオステオパシーの普及と、施術を受ける側の安全性のために、医療有資格者を対象に基本的で、さらにオステオパシーを行う上で必要不可欠な、哲学的法則・原理・触診・スクリーニングテストなどを中心としたセミナーを行います。

オステオパシーの入門や基礎は重要で必要不可欠な内容なのです。

オステオパシー入門基礎セミナー・・・入門フェーズ1&2の内容

- ・オステオパシーの歴史 ・オステオパシーの哲学的法則 ・AT スティルの洞察
- ・世界のオステオパシーの情勢 ・骨転位から体性機能障害(SD)まで
- ・ウォルフの法則 ・ヒステレシスとクリープ ・診察の基礎と TART
- ・触診 ・各モデル(生体力学系・神経系・呼吸循環系・生体エネルギー系・心理的要素)
- ・各種 OMT「手技」の概略(ST・ART・HVLA・ME・LAS・CS・VM・CR)
- ・姿勢に関する基本的見解(最適な姿勢の定義・・・など。

オステオパシーの歴史

オステオパシーがどの時代のどのような背景で生まれたか。
A.T.スティルの歴史の概要

オステオパシーの法則(哲学)

オステオパシーの中枢を成す哲学と基本法則

AT スティルの洞察

オステオパシーのホリスティックな自然治癒力に対する考え方。
(A.T.スティル M.D. に見るボーンセッターとヒーラーの要素・・・)

世界のオステオパシーの情勢

アメリカやヨーロッパなど現在のオステオパシーの発展と、フランスのオステオパシーの伝統と独創と多面的可能性の概要

骨転位から体性機能障害(SD)まで

A Tスティルが注目した構造の問題、リージョンとは、オステオパシックスリージョンからソマティック・ディスファンクションの概要

ウォルフの法則

力学的不可に対応し、骨構造(結合組織)などに起こる変化

各モデル

力学モデル 神経モデル 呼吸循環モデル 生体エネルギーモデル 心理的モデル

診察の基礎と TART

オステオパシックス・ダイグノーシスの基礎・機能障害か病理的問題か
視診・問診・触診・機能障害の四つの表現(T A R T)・ファシリテーター(促進者)
と治療者の違い

触診

オステオパシク・パルペーションとは ・軟部組織/骨関節のパルペーション
静的パルペーション(発生リズムに関与した各種パルペーションの紹介)

各種 OMT の概略(ST・ART・HVLA・ME・LAS・S-CS・VM・CR)

D と ID とは、各種オステオパシーマニピレーションの紹介。
複合法の一例

姿勢に関する基本的見解

構造診断 姿勢に対する基本的見解 クロスオーバーポイント
移行ゾーン ジンクの筋膜パターン 筋靭帯のパターン 主動筋と拮抗筋 構造診断の手順

スクリーニングテスト

10 種類のプロトコールから『全体検査』

オステオパシーの基本的有効性と多面性

At スティルのオステオパシー実践の基礎(リサーチ&プラクティスから…)

生活指導のいくつかのモデル・自然で多面的生活要素

現代の環境における身体の適応と相殺の洞察

- ・ 胸郭のSDに対するオステオパシーアプローチ・実技(時間が余れば)
- ・ 進行の都合上、内容が多く一部変更やカットされる場合があります。

セミナー受講者の感想（2008年）

- 初心者でセミナー受講は初めてだったのですが、オステオパシーの概念、考え方など非常に興味深く学ばせて頂く事ができました。実技は今まで経験が無いと難しいと感じましたが、今後勉強していきたいと思いました。(M,Y 医師)
- オステオパシーの哲学や治療方法の内容の深いセミナーでした。(M,O JOMA 会員)
- 哲学の重要性が認識できて良かったです。オステオパシーの広さと深さを学べる事を予感します。(K,N)
- 歴史・創始者の話や先生の臨床経験を交えながらの講義がとても面白く、脱線した話が不快で無くむしろ楽しかったです。今までセミナーを受講して得た知識、技術はすぐに臨床で使いたくなり、無理やりその枠に患者さんをあてはめていた様に反省させられました。
介入しすぎない、適当に見る(わからなければわからないままでも良い)核になる部分を治療する。
目が覚めた気がします。(T,K 柔道整復師)
- 内臓に関しての話題が多かった気がした。(N,K 柔整学生)
- 今まで直接的な治療法をあまり知らなかったのでとても参考になりました。次回も楽しみです。(T,T 鍼灸師)
- 初めての事ばかりですので、わからないことが多かったです非常に興味を持って拝聴いたしました。(H,M)

実施要項

1. 日程 第1回 2017年7月30日(日) 午前10時～午後3時

【有料】第2回 2017年8月20日(日) 午前10時～午後4時

2. 会場

〒260-0045 千葉県中央区弁天 1-2-8 大野ビル 4階

CHIBA CONFERENCE CENTER セミナールーム A

沿線・最寄駅 「千葉」 駅 徒歩2分 総武本線・外房線

他：「京成千葉」 駅 京成千葉線

「新千葉」 駅 京成千葉線

3. 定員 **30** 名 ※定員になり次第〆切りますので、早めにお申し込み下さい。

定員に満たない場合中止になる場合があります。

4. 申込み

参加希望者は所定の申込書に必要事項を記入して 7月18日までに
ホームページまたは FAX にて日本オステオパシーメディスン協会へお
申込みください。

FAX：03-6661-9018 (JOMA 事務局)

URL：<http://www.japan-osteopathy.com>



5. 参加費 7月30日(日) **無料** 8月20日(日) 一律 9,720円(税込)

2回目参加費のみ有料となります。8/10まで早割 8,640円(税込)

※お支払方法は1回目のセミナーにて別紙配布

6. 備考

- カメラ・動画に類する撮影・持ち込みはできません、初回は録音も不可です。
- この技術を使用し、万が一事故が生じた場合、当会では一切責任を負いません。
- 参加者は誓約書にサインしていただきます。
- 万が一、休講された場合でもビデオ学習は御座いません、予めご了承ください。

オステオパシー入門【千葉】セミナー申込書

2017年 月 日

氏名	漢字	ローマ字
年齢	才	男性 ・ 女性
住所	〒	
電話番号	Tel - -	Fax - -
Email		
※所属団体	JOMA 会員 ※その他()	
※国家資格	注1	
※学校名	注2	
※卒業校名	注3	
※2回目参加希望	2回目参加希望 <input type="checkbox"/> 参加希望の方は✓を入れて下さい。 ※初回セミナーの際も2回目参加応募できます。	

※ は必須項目ですので必ずご記入ください。

注1：医療国家資格をお持ちの方は明記し、証書の写しをお送り下さい。

注2：医療国家資格校の学生は学校名を明記し、学生証の写しをお送り下さい。

オステオパシー・カイロプラクテック2年生養成校等の学生は学校名を明記し、学生証の写しをお送り下さい。

注3：オステオパシー・カイロプラクテック2年生養成校等を卒業している方は学校名を明記し、卒業証の写しをお送り下さい。

- 過去に JOMA 主催のセミナーを受講された方は、再度、注1・2・3の証書等の写しは必要ありません。

～ご参加の動機について該当するものにチェックを入れてください～

- JOMA ダイレクト・メールを見て
- JOMA ホームページを見て
- 口コミ
- 紹介（紹介者名：)
- 雑誌や広告（)